

ネットワークカメラ ファームウェアリリースノート

<p>対象機種： <b>WV-X15700-V2LN WV-X15500-V3LN</b>  <b>WV-X22700-V2L WV-X25500-V3LN</b>  <b>WV-X25700-V2LN WV-X22500-V3L</b>  <b>WV-X15300-V3LN</b>  <b>WV-X22300-V3L</b>  <b>WV-X25300-V3LN</b></p>			
バージョン 更新日	ファームウェア※	更新内容 (項目末尾に「*」がついている項目は、別途「追加情報」チラシを参照ください)	備考
Ver3.20 2024/5/28	x15700_320ES.zip	<ol style="list-style-type: none"> <li>画面内文字に使用するフォントを変更</li> <li>ブラウザ画面（ライブ画／詳細設定画面）で表示される英語の文字フォントを変更</li> <li>ブラウザ画面におけるライブ画のi-PROロゴの色を青から黒に変更</li> <li>i-PRO Remo. Service接続時におけるセキュリティ性の向上</li> <li>i-PRO Remo. Service接続時の通信回線が狭帯域の場合において、通信切断が発生した場合に再接続を繰り返し、復旧しやすくなるように改善</li> <li>追加アプリケーション使用時、インストールされている追加アプリケーション全体のAIプロセッサ使用率が上限に達した場合のログが管理ログに記録されない現象の改善</li> <li>プリインストールされているアプリケーションがカメラの設定画面にある機能拡張ソフトウェアのメニュー一覧、および動作スケジュールに表示されない現象の改善 ※対象バージョン：Ver.2.50</li> <li>カメラを再起動するとSMTPの設定が初期化される場合がある現象の改善</li> <li>画像回転「90°」、「270°」、解像度「320×180」に設定すると、オーバーレイ画像が表示されない場合がある現象の改善</li> </ol>	
Ver3.10 2024/2/29	x15700_310ES.zip	<ol style="list-style-type: none"> <li>CSR作成画面にSAN(サブジェクト代替名)の入力欄を追加</li> <li>SDメモリーカードへ記録（データ暗号）する際の初期パスワードを空欄に変更</li> <li>Webブラウザでライブ画表示中に、ストリームの送信フレームレート/ビットレートを表示する機能を追加</li> <li>i-PRO Remo.Serviceからカメラのファームウェアをバージョンアップする機能に対応（カメラダイレクト接続/エッジストレージ経由接続）</li> <li>セキュリティに関する以下の設定機能を追加 <ul style="list-style-type: none"> <li>ブルートフォース攻撃対策</li> <li>ブラウザアクセス有効/無効</li> </ul> </li> <li>[TLS1.2]の有効/無効を設定可能に変更</li> <li>プライバシーゾーン表示形式に「モザイク」の選択肢を追加 【変更前】On,Off 【変更後】On,Off,モザイク</li> <li>SNMP設定を「Off」→「On」に変更する際に、コミュニティ名の入力が必要となるように変更</li> <li>ネットワーク設定のHTTPS接続方式における選択肢「HTTP」を実際の接続動作に合わせて「HTTP &amp; HTTPS」に変更</li> <li>H.265の描画性能を向上 ※詳しくは技術情報ウェブサイト&lt; 管理番号：C0132&gt;を参照してください</li> <li>HTTPアラーム通知のイベント種別に「診断」項目を追加</li> <li>Webブラウザから、HTTPアラーム通知にポート番号 69 を使用できるように改善</li> <li>画面内に埋め込まれているURLのリンク先を現在のi-PROブランドサイトに合わせて変更</li> <li>AIプライバシーガードアプリケーション（WV-XAE201WUX）への対応として以下の内容を改善 <ol style="list-style-type: none"> <li>「モザイク対象外領域設定」としてモザイクを掛けたくない場所を設定</li> <li>「モザイク対象外領域設定」の多角形対応</li> <li>今のAIプライバシーガードの「ガード対象」の選択肢に「全て（対象外領域除く）」「人以外」を追加 【変更前】「全身」「顔」 【変更後】「全身」「顔」「全て（対象外領域除く）」「人以外」</li> </ol> </li> <li>i-PRO Remo. ServiceにおけるID/パスワードでのユーザ認証は登録時のみとするように改善（運用開始後、i-PRO Remo. ServiceのWebブラウザ上の変更のみでID/パスワードの変更ができる）</li> <li>i-PRO Remo. Serviceを有効にすると、NTPの時刻同期が有効になるように改善</li> <li>i-PRO Remo. Serviceを有効に設定した際、カメラの解像度・フレームレートなどをi-PRO Remo. Serviceが推奨とする値に自動で設定されるように改善</li> <li>i-PRO Remo. Serviceへ初回カメラ登録時に接続失敗した場合、確認する設定項目を表示するように改善</li> <li>i-PRO Remo. ServiceをLTE無線通信ユニットに接続し、低速通信になっている場合にi-PRO Mobile APPからの録画ダウンロードに失敗する場合がある現象の改善</li> <li>機能拡張ソフトウェアのインストールに失敗した際、エラー要因が特定できる情報を管理ログに残すように改善</li> <li>機能拡張ソフトウェアの登録と削除を繰り返すと、稀に機能拡張ソフトウェアが登録できなくなる現象の改善</li> <li>SNMP認証方式から「MD5」を削除</li> <li>IEEE 802.1Xの[EAP方式]から「EAP-MD5」を削除</li> <li>VMDのエリア、検知感度などを設定した後にカメラ再起動すると、検知されにくくなる現象の改善</li> <li>[AIプライバシーガード]の「描画方式」の選択肢と、プライバシーゾーンの「プライバシーゾーン表示形式」の選択肢の多国語表示の文言を統一化</li> <li>画像回転を「90°」「270°」設定時にVMDを設定すると、ライブ画ページからVMDをOFFにできない現象の改善</li> <li>MQTT設定を「On」、ポートを「443」に設定した際にアラームによるイベント動作を通知できない現象の改善</li> <li>ネットワークレコーダーとの接続において、ストリーム1/2を同時配信した状態で更にSDメモリーカードに書き録画をしていると、極稀にカメラ再起動することがある現象の改善</li> <li>GOP制御を「Off」に設定した際、SDメモリーカードへの録画設定を行おうとすると、ビットレートを6,144kbps以下への変更を促すアラートが表示されてしまう事象の改善</li> <li>AIプライバシーガード（WV-XAE201WUX）の設定で、「ストリーム(2)&amp;ストリーム(4)」を有効にした場合の解像度設定の制約を変更</li> <li>タブレット端末で撮像モード「60/50fpsモード」を選択した場合、ブルーバック表示となるように改善</li> <li>システムログに電源種別が正しく残るように改善</li> <li>画揺れ補正を「On」→「Off」に変更した際にスーパーダイナミックを「On」にすると、映像が暗くなる現象の改善</li> <li>画像回転「90°」もしくは「270°」時のアナログ出力における画面内表示の改善</li> </ol>	《品番追加》 WV-X15500-V3LN WV-X25500-V3LN WV-X22500-V3L
Ver3.01 2023/12/26	x15700_301ES.zip	AIプロセッサを搭載していない同一ネットワーク上のカメラ（非AIカメラ）最大3台の映像をとりこみ、AI映像解析を可能にする機能拡張ソフトウェア※に対応 (※本機能拡張ソフトウェアは2024年4月リリース予定)	
Ver3.00 2023/12/20	x15700_300ES.zip	初版	

※ファームウェアは「zip」形式の自己解凍型圧縮ファイルとなっております。ご利用の際は展開後、拡張子「.img」ファイルにしてご利用ください。